

2008年 市政ハイライト



1月25日 六丁四反水路排水施設で浸水被害を改善へ

1 1月25日 関宿地域の浸水被害を改善へ
親野井から関宿地域を南北に走り、船形へ通じる「六丁四反水路」は、夕立などで道路や宅地が冠水するなど、浸水対策が課題となっていました。市では国の協力を得て、東宝珠花に排水施設を完成し、稼動を開始しました。

1月28日 市民会館初の消防訓練
平成9年に国の登録文化財となった市民会館で、「文化財防火デー」にちなんで、初の防災訓練を行いました。隣接する郷土博物館を火元と想定し、避難誘導訓練や初期消火訓練など本番さながらに取り組みしました。

1月28日 “上海からの友だち” 二中で日中交流
修学旅行で来日していた中国の「上海第三女子初級中学」の生徒86人が、野田に宿泊した縁で、第二中学校を訪れ、お互いの学校生活の紹介や合唱を披露し合いました。

4 1日 見直し後の総合計画（新市建設計画）の後期基本計画スタート

合併後3年を経過したことや、野田市総合計画の前期基本計画が19年度で終了することから、総合計画審議会で、市民のご意見を十分審議・反映しながら、見直しを行っていただき、4月から後期基本計画がスタートしました。

4月1日 障害者の試行雇用にも奨励金
35歳未満の若者の早期就職と雇用機会の創出を目指し、3か月間の試行雇用を行った事業主に奨励金を支給する「若年者トライアル雇用事業」の対象者に、今年度からは障害者（年齢制限なし）も加えました。

4月6日 総合公園に「スケートボードパーク」開設
滑走面約700平方メートルのスケートボードパークが総合公園内に完成し、開場式や市内のスケートボードクラブによる模範滑走が行われました。

2 2月16日 中学生が初の「一日消防署長」
学校の職場体験学習がきっかけで、初の「1日消防署長」に中学生2人が任命され、防火・救命のPRを行いました。

2月28日 警察と連携し市営住宅へ暴力団員の入居制限
市と野田警察署では、連携を強化して、さらなる暴力団員排除に取り組んでいこうと、「暴力団員の市営住宅への入居制限に関する協定」を締結しました。

5 5月11日 万一に備え水防演習
雨季を前に、台風や洪水などによる水害に備えた水防演習を、江戸川河川敷運動広場（岩名地先）で開催し、消防団員540人が参加しました。

5月27日 今年も県内一の収穫量
米の生産調整をきっかけに船形地区や小山地区などで本格的に始まった麦づくり。今年も、大麦と小麦の作付面積と収穫量は県内一となりました。

3 3月6日 野田の先進的な防犯活動を海外からも視察
市と市民、警察が連携した野田の先進的な防犯活動を学ぼうと、インドネシアの警察幹部や知事らが視察に訪れました。実際に、防犯組合の支部に赴き、住民らの防犯パトロールに同行。地域ぐるみでの活動に関心を寄せていました。

3月14日 不審物による災害を想定し駅で合同訓練
「清水公園駅で不審物がまかれ、多数の負傷者が出た」という想定のもと、NBC（核物質・生物剤・化学剤）災害も視野に入れた訓練が、市と野田警察署と東武鉄道の合同で行われました。

3月29日 東西方向の幹線道路として清水公園駅前線開通

清水公園の景観に配慮し、一部地下構造や桜並木の保全などを行いながら、市内を東西方向に結ぶ幹線道路として整備を進めてきた「清水公園駅前線」の一部（約1,000メートル）が開通しました。

6 6月1日 2,700人による“街の大掃除”
ごみのない街を目指し、日光街道沿いの「ゴミゼロ運動」と江戸川河川敷の「江戸川クリーン大作戦」を実施。約2,700人の協力を得て、約2時間で3,540キログラムのごみを集めました。

6月6日 新鮮で安全・安心な地元の農産物をご提供
市では、市内の農業者や農業団体、障害者団体などが、講習会などで安全安心に対する意識を高めた上で生産した農産物を、多くの方に直接販売する「農産物直売所・ゆめあぐり野田」を開設しました。



4月6日 総合公園に「スケートボードパーク」開設



7月6日 市民課窓口を日曜日も開設